

**1969
SUMMER
WORKSHOP
FOR
TEACHERS
OF
ENGLISH
IN
JAPAN**

LIOJ

英語教育者のための 1969年度 夏期ワークショップ

主催……………LIOJ(日本)

後援……………南カリフォルニア大学教育学部(米国)、
ジャパンタイムス、旺文社

場所……………LIOJ 神奈川県小田原市 アジアセンター

期日……………昭和44年7月27日(日)ー8月3日(日)7泊8日

目的……………1. 英語学教育の最新の理論とテクニックの紹介
2. 英語教育者の「生きたスポークン・イングリッシュ」
の実力をつける
3. 日本における英語教育の向上をはかる



LECTURE PROGRAM 講義課程

1. 英語教育の理論とテクニック

- A 英語学の特質と語学教育
- B 学生が英語学習上に直面する諸問題及びその解決方法
- C 音声学、構文及び文化面から見た英語と日本語の対照分析に基いた英語教育の指導原理
- D 英語教育の最新各種資料の紹介
- E 最新の視聴覚教育促進の各種資料の紹介
- F 英語教育者のためのドリル、実地演習、テスト他基礎資料の紹介
- G 英語教育の手順、最新の教習指導のデモンストレーション
- H ランゲージ・ラボの資料の作り方

2. 日米文化の対照研究

PRACTICE PROGRAM 実習課程

1. 外人スタッフ指導によるスピーク・イングリッシュの教授実習
2. 外人スタッフ指導による発音、イントネーション等の学習研究
3. 食事時間の応用 参加者及びスタッフは食事、お茶の時間等も英語による対話やディスカッションを続ける
4. 期間中は食事、運動、レクリエーションなどの生活の大部分が英語によって行われるので、海外生活の雰囲気の中で、欧米文化の本質と感覚を自然に体得する

日程

- 理論とテクニックの講座..... 2 時間
- 日・英語対照研究講座..... 1 時間
- 対照研究による教育指導のデモンストレーション及び実習... 1 時間
- 研 究 発 表..... 1 時間
- ランゲージ・ラボにおける諸研究..... 1 時間
- 外人スタッフとの会話実習..... 2 時間
- 特別番組(主として夜間)..... 1 ~ 1.5 時間
- 食事(お茶も含む)時間を通して会話練習及びディスカッション
..... 2 ~ 3 時間

スタッフ

DR. SUMAKO KIMIZUKA

(南カリフォルニア大学助教授/カリフォルニア州教育委員会顧問)

MISS JOANNE WOOD (南カリフォルニア大学教育学部)

MR. ROWLAND HARKER (LIOJ 校長) 他、米・英外国人講師多数

参加費用 25,000円 (7泊・8日 合計)

<授業料、器材使用料、宿泊、食費その他一般生活費、教材費含む>

定員 90名(定員に達し次第締め切ります)

英語教育者のための夏期英語特訓課程

期間—————1969年8月3日—8月31日 4週間
場所—————MRAアジアセンター(神奈川県小田原市)

授業及び生活を4週間送るアジアセンターは箱根を背に相模湾に面した閑静なる景勝の地にあり、地下2階、地上5階の近代的教室、図書室、食堂、大ホール、宿泊室、ロビーなど冷暖房の施設も完備している。小田原駅より車で5分。

目的—————「生きた英語」の習得と完全な英語力の育成
前期ワークショップ(7月27日—8月3日)に引続いて、その経験を実際に応用した本課程は、4週間アジアセンターに起居して、外人スタッフとの共同生活を通して末だ海外留学の機会を得ない方々に「生きた英語」を習得していただき完全な英語力を身につけてもらう。このコースは全面集中教育により1日7時間の授業(ランゲージ・ラボ実習も含む)食事、スポーツ、レクリエーション等生活の全てが英語で行われ、日本語は一切使用しない。

参加費用—————70,000円(4週間合計)

授業料(1週間)……………8,700円×4週
器具/器材使用料(1週間)……………3,200×4週
生活費(宿泊・食事他)(1週間)……………5,600×4週

＜教育者のためのコース時間割＞

7:30……………朝食	3:40まで }……………自由時間
8:15—9:00…………英語テキスト(15人クラス)	
9:05—9:50…………英語テキスト(15人クラス)	3:45—4:30……………英作文
9:55—10:40…………英語テキスト(15人クラス)	4:35—5:20……………英会話……………(5人程度)
10:45—11:30……………講義	5:25—6:10…………ランゲージ・ラボ(15人クラス)
11:35—12:25…………ランゲージ・ラボ使用による、会話練習(15人クラス)	6:30……………夕食
12:30—1:15……………昼食	8:00…………映画、音楽、講演など夜のプログラム 週末には特別プログラムを組んでいます

LIOJ

(LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN)

財団法人MRAハウス（代表理事浪沢雅英）主催による本課程は英語というメディアを通して世界の平和と繁栄に貢献することの出来る人物を作ることを目的とし、昭和43年3月開講いたしました。

LIOJには英語特訓課程（神奈川県小田原市 MRAアジアセンター）と英語マスターコース（東京MRAハウス）があります。

- 英語特訓課程は全寮制による16週間の全面集中教育を通して完全な英語の読解力を修め海外での留学や勤務に支障のない英語力を育成する為、日本語を一切使わないで、全部英語による授業と生活のプログラムはかなりの負担ですが、第一回受講生以来、全員これを克服して、既にその多数が海外の大学や勤務先で大いに活躍中です。

「生きた英語」を身につける建前から若い外人スタッフ（男・女）との共同生活も健全な外人との人間関係をつくるという意味で大いに成果も上り、学習から食事、レクリエーションまで24時間の全てが海外生活の雰囲気の中で行われますので、欧米民族の文化の本質と感覚をも自然に体得いたします。

スタッフは校長ローランド・ハーカー先生（米国人、エール大、オックスフォード大卒業、昭和14年に来日、戦前の第一高等学校、戦後は青山学院大、学習院大で教鞭をとり、その間常盤宮殿下に英語特訓教授を進講）を中心とする充実した教授陣に加えて、若い外国人男女大学生を多数アメリカ各大学から招き、英語を学ぶかたわら彼らにも日本やアジアの実態を知らせる試みをはじめ成果を挙げております。

LIOJ特訓課程 第一回（昭和43年3月～7月）

第二回（昭和43年9月～12月）

第三回（昭和44年3月～7月）現在開講中

第四回 昭和44年10月5日 開講

- 英語マスターコースは、LIOJのスタッフが東京MRAハウスに於て高校、大学生及び一般社会人の方々の為に夜間コースを開講しております。

●MRAハウス 東京都港区南麻布4丁目9番17号 〒106 Tel. 473-2156

●MRAアジアセンター：神奈川県小田原市十字4-1007 〒250 Tel. 0465-22-6131